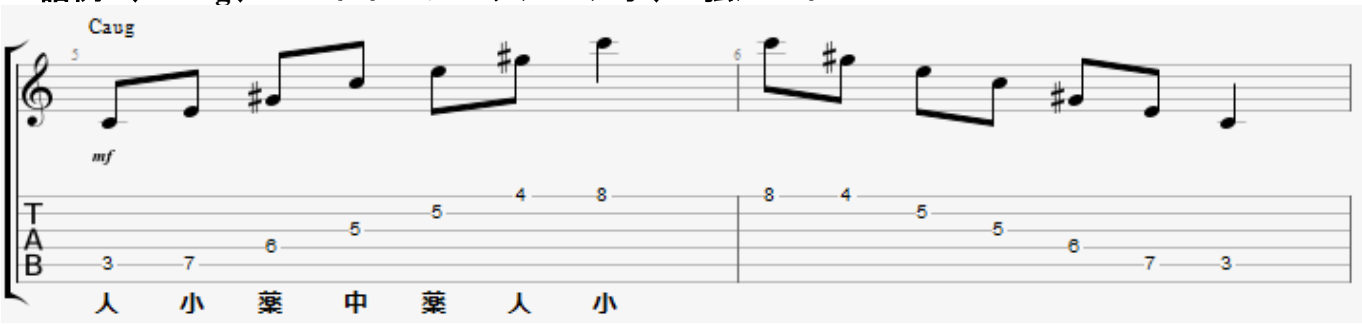
Vol.63　オーギュメントのアルペジオを弾いてみる　～その 2～

『10 分トレ』vol.63、始めていきましょう。

前回に引き続き、『Xaug』コードのアルペジオを弾いて行きます。今回は 5 弦ルートの方ですね。

早速譜例に行ってみましょうか。

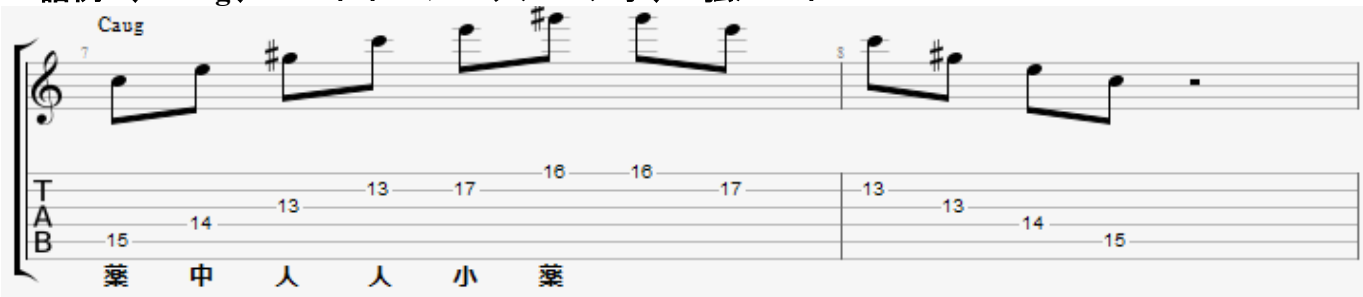
譜例 1、Caug、コードトーン・アルペジオ、5 弦ルート 1



これはローポジションで弾いていますが、ストレッチがきつい場合は、ルート音を他の音に変えるか、オクターブ上げて弾いてみて下さい。

次の弾き方はネック側に構成音を見たものですが、こちらもローポジションだと少し弾き辛いので、まずはハイポジションで弾いてみましょう。

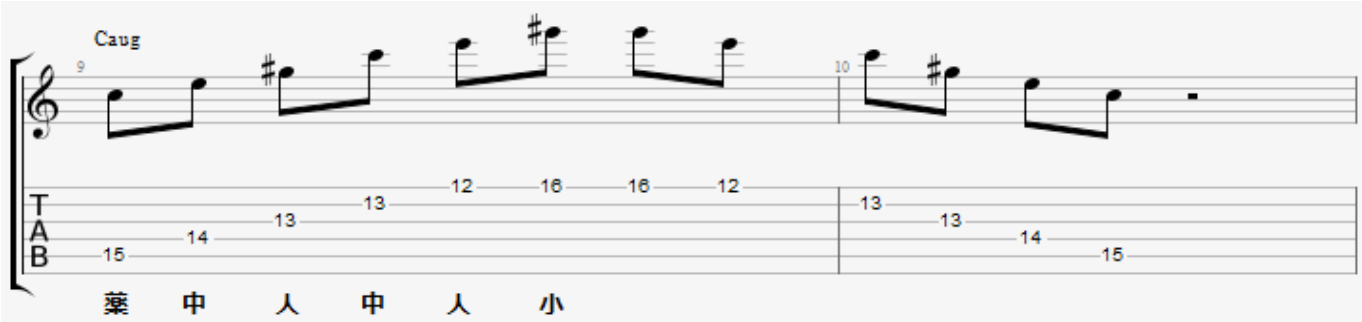
譜例 2、Caug、コードトーン・アルペジオ、5 弦ルート 2-1



続いて、同じ音程を違うフレットを使って弾いたものが以下です。

譜例 3、Caug、コードトーン・アルペジオ、5 弦ルート 2-2

Copyright (C) 2016 shunichi onuma All Rights Reserved



譜例 2、3 の様な、同じフレーズを異なる弾き方で演奏できる場合は、その人の好みや、フレーズ(指使い、ポジション移動)の前後関係で弾き方を選ぶことになるでしょう。

後、譜例 3 などは、小指スタートで 5 弦 15 フレット小指→4 弦 14 フレット薬指(で後は同じ)と弾いてみても良いですね。

異弦同フレットのフレーズ(例えば上の譜例の 2～3 弦 13 フレットが続くところ等)は、ジョイントで弾くか、それぞれ違う指で押さえるかの二択になると思います。

この辺り、ノイズの出やすさや音の重なりを極力避ける場は違う指で押さえ変える方が良く、スピードを求める場合はジョイントを選ぶ傾向が強くなって来るでしょう。

とは言え、他の様々な要因も関わってくるので、求めるトーンに合わせて自分なりの基準を持っておくと良いですね。

では、今回は以上になります。

ありがとうございました。

大沼

Copyright (C) 2016 shunichi onuma All Rights Reserved